

ゴム状塗料 PROT(プロト) 使用方法

☆ディッピング(浸漬塗装)

- ・ディッピングや乾燥しやすいように、被膜対象物を針金や紐などで吊り下げて準備してください。
- ・被膜対象物をゆっくりとPROT(プロト)に漬け込み、同じようにゆっくりと引き上げます。
- ※早い動作だと、表面に気泡が発生しやすくなりますのでご注意ください。
- ・吊り下げて自然乾燥させます。塗り重ねの場合は、都度1時間ほど置いて上記方法を繰り返します
- ・仕上がりまで、塗装後から自然乾燥で約4～24時間程度必要です。

乾燥時間	約4～24時間(室内温度20℃)※作業環境・希釈状況により異なります
被膜厚	1回漬け 約0.30mm、2回漬け 約0.80mm ※希釈液0%

☆刷毛・ローラー塗り

- ・PROT(プロト)をトルエン・ラッカー・シンナー等の溶剤で、約10～30%程度希釈します。
- ・気泡が入らないように注意しながら、十分に攪拌してからご使用ください。

☆スプレー塗装

- ・PROT(プロト)をトルエン・ラッカー・シンナー等の溶剤で、約30～50%程度希釈します。
- ・気泡が入らないように注意しながら、十分に攪拌してからご使用ください。
- ※ノズルから出にくい場合は、スプレーができる濃度まで希釈してご使用ください。
- ・被膜対象物からノズルを約30cm程度離して塗装してください。
- ・ガンの吐出圧力が低いと膜厚が安定しない為、吐出圧力は高めに設定してください。

PROT(プロト)	希釈液(%)	被膜厚(mm)	被膜面積(m ²)
1000mL	0	約0.30	約3
1000mL	20	約0.15	約4
1000mL	30	約0.10	約6
1000mL	50	約0.05	約8

【注意点】

- ・塗装前には必ず被膜対象物の表面処理を適切に行ってください。
- ・ごみ、埃、錆、油分、水分などの除去を行ってから塗装してください。
- ・気泡が発生しないように、ゆっくり丁寧に十分攪拌してから使用してください。
- ・乾燥皮膜の対電気絶縁性は優秀と判断されていますが、適用範囲内であっても不可抗力の突発事故や不適切な使用方法でメーカーの数値を超える場合があるため、使用者側の責任においてご使用ください。メーカー及び弊社では絶縁力に対するいっさいの責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ・安全データシートなどを確認し、十分注意してご使用してください。